

# 令和5年度 新しい生活様式に沿った二地域居住の推進実証調査

福岡県北九州市

## 北九州市二地域居住市場開発プロジェクト

(北九州市二地域居住促進コンソーシアム)

### 《概要》

#### 実施の目的

地域の課題である空き家を活用した新たな滞在方法と、それらの利活用を加速させるための担い手として来訪者に関わってもらうことが二地域居住に寄与するのではないか？という仮説を立て、二地域居住等の推進に与える効果及び地域に及ぼす影響等を検証することを目的とする。

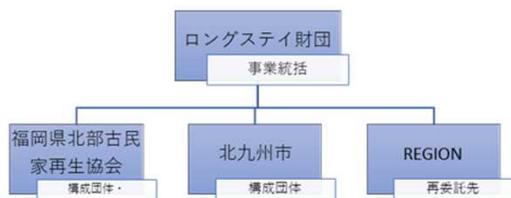
#### 実施概要

地域課題解決と持続可能なまちづくり達成に向け、空き家の利活用の担い手として来訪者に関わってもらうことで、単なる旅行者でなく仲間という関係人口創出戦略として、地域住民に主体的に関わってもらいながら地域コミュニティに参加できる仕組みを構築する。

具体的には潜在顧客の把握と、潜在顧客からモニター参加者を募り、当該エリアでの古民家DIYを核に地域の生活や地域住民に触れてもらう。これらの活動が二地域居住に与える影響を来訪者視点、住民視点の双方から調査し、次年度以降の戦略につなげる。

#### 調査体制

代表団体一般財団法人ロングステイ財団を中核として北九州市(小倉南区)行政と(一社)福岡県北部古民家再生協会と連携した体制。



#### 期待する効果

当該地域を二地域居住先としての認知向上とファンづくりの礎としたい。第一に東谷地区(特に平尾台)を守る人々の暮らしが持続可能なものとなることを大命題として、住民が大地と共に生きていること、大きな環境・価値観の変化、人口流動を踏まえ、悠久の自然と住民が丁寧に紡いできた歴史や価値を再定義、再構築することで、住民の誇り醸成、経済効果拡大の2点を追求したい。

### 《主な調査内容》

#### 取組内容

下記の取組を通して二地域居住希望者と地域住民の双方から意見聴取をし、持続可能な戦略策定を行う。

1. 調査
  - (1) オンライン意識調査の実施
  - (2) モニター参加者アンケート調査と聞き取り調査
2. 地域の体制づくりに関する取組
  - (1) 企画策定ワークショップの実施
  - (2) コンシェルジュの育成
3. 実施計画の提案



#### 主な検証内容

1. 調査
  - (1) オンライン意識調査の実施  
当該地区より半径100キロ圏内(車で3時間以内)の居住者に対して、不特定多数を対象とした意識調査を行い、ターゲットとする範囲に二地域居住、ワーキングホリデーの潜在市場がどの程度あるのか、またその属性等について調査を行う。  
なお、調査対象についてはSNS広告を活用し収集する。  
(想定サンプル数:1000以上、想定回答率:0.5%)
  - (2) モニター参加者に対するアンケート調査と聞き取り調査  
対象者の中からモニターを募り、仮説に基づいたモニタープログラムを実施し、参加者にアンケート調査を実施するとともに個別の聞き取り調査を行う。(想定サンプル数:5組10名程度)
2. 地域の体制づくりに関する取組
  - (1) 企画策定ワークショップの実施  
地域関係者向けのワークショップを開催し、地域の目指す目標・ゴールをすり合わせ、具体的なアクションプラン等の計画を策定する
  - (2) コンシェルジュの育成  
来訪者(ヨソモノ)と地域住民の接着剂的な役目を担い、ヒトとヒトをつなぎ、より深い交流を促進させるコンシェルジュ的人材を育成する
3. 実施計画の提案  
市場調査の結果を踏まえた次年度以降の二地域居住施策戦略案の立案